

農の雇用事業による取組事例

広島県三次市上田町 有限会社平田観光農園

- 能力が高い人材が経営を担うべきであると考え、世襲を禁止、若い人材を登用し経営に参画させ、
- 人材育成をすすめている。

有限会社平田観光農園の概要

【所在地】広島県三次市上田町

【ホームページ】<http://www.marumero.com/>

【事業内容】りんご、ぶどう等の落葉果樹14種及び

いちごの観光農園、果実加工品等の販売

【経営面積】14種 150品種 15haで栽培

【従業員数】正社員10人、パート11人、



人材の定着に向けた取組内容

【取組を行うことになった背景】

○祖父が昭和30年に創業した観光果樹園で、家族経営＋パート、外国人実習生で経営をしていたが1997年の就農を契機に、今後は能力が高い人材が経営を担うべきであると考え、世襲を禁止、若い人材を登用し経営に参画させ、人材育成をすすめている。

【取組内容】

○全国に募集をかけて集めた人材を正社員雇用、人材育成、適材適所の業務、人材配置と能力主義を推し進め、第1号として愛知県出身の加藤瑞博が常務取締役就任し、長野県の子会社株式会社果実企画の社長も兼任。その後2名役員に登用。会社の後継者を育成するほかに、農の雇用で就農し、故郷で独立して頑張っている若者も多数。また販売、接客、加工、デザイン等への女性の登用等と、住居・トイレ等の雇用環境整備も進めている。

○従業員の意見や討論による業務の見直し、新しい業務への挑戦等の経営改革。

雇用環境

○社員住宅や更衣室、休憩室、トイレ等の整備 ○従業員の発言・意見尊重と能力主義

【取組の成果】

○従業員発案・全員討論による新規事業の開始、事業見直しによる経営改善の進展。

【従業員の評価】

○経営参画による勤労意欲の向上、○全国からの人材の集結、○独立就農者の増加

【今後の目標】

○高収益型観光農業と地域をも巻き込んだ地域発展型農業の展開